

高速ドローン 商機加速



固定翼を持つ産業用ドローンの説明を受ける参加者＝美濃市曾代、市運動公園

固定翼で時速100キロ飛行

東京都文京区のドローンメーカー「Aerosense（エアロセンス）」が開発した、飛行機のような固定翼を持ち、高速、長距離の飛行が可能な産業用ドローン「AEROBO wing（エアロボウイング）」のデモ飛行が17日、県内で初めて美濃市曾代の市運動公園で行われた。（佐名妙予）

県内初、美濃市で法人向けデモ飛行

同公園内にある「ドローンミュージアム&パーク」の「で同機の初号機の展示が始まったことに合わせて、ミュージアムを運営する「ROBOZ（ロボッツ）」（恵那市）が法人向けに企画。建設コンサルタント会社、自動車メーカー、ドローン関連会社など全国15社の30人が見学した。

エアロセンスによると、機体は幅約2メートル。飛行機のような翼に加え、四方にプロペラを搭載し、垂直離着陸ができる。固定翼により最高で時速約100キロと高速で飛行できるのも特色。最大飛行距離50キロと、広範囲の飛行が可能という。カメラを搭載し、大規模測量や砂防施設、送電線の点検などで活用が進んでいる。重量1キロ以内の荷物を運ぶことができ、緊急物資輸送に利用できる。

この日は、エアロセンス

の佐部浩太郎社長ら社員が機体の解説後、操作し、あらかじめ設定された飛行経路や高さ通りに飛ばした。参加者は飛行の様子を撮影したり、社員に質問したりして最新技術に理解を深めていた。